

令和2年2月 市長記者会見 配布資料

発 表 要 旨

期 日 令和2年2月21日(金)
時 間 午前10時～11時10分

発 表 内 容

- 1 令和元年度佐渡市一般会計補正予算（第11号）について
……<財政課>
- 2 令和2年度佐渡市一般会計当初予算について
……<財政課>
- 3 東京2020オリンピック聖火リレーサポートランナー募集について
……<企画課>
- 4 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル
『佐渡市の火』採火メンバー募集について
……<企画課>
- 5 「ゼロカーボンアイランド」の実現に向けて
……<環境対策課>
- 6 令和元年の観光客入込状況について
……<観光振興課>
- 7 首都圏での「佐渡産ルレクチェゼリー」の販売について
……<農業政策課>
- 8 オアシス2020春 郷土芸能祭・加茂湖牡蠣祭の開催について
……<建設課>
- 9 2020佐渡オープンウォータースイミングのエントリー開始について
……<社会教育課>
- 10 2020佐渡国際トライアスロン大会のエントリー開始について
……<社会教育課>

11 第20回全国高等学校版画選手権大会（はなが甲子園）本戦の開催
について

……<相川支所>

【事前質問】

新潟空港を拠点にしたLCCの新設構想について

①期待や課題を含めた市としての評価を教えてください。

佐渡空港の定期便再開や首都圏などと路線開設の可能性について、どの程度の手応えを得ていますか？

②準備会社や県などどのような意見交換をしていますか？

また、今後、市としてLCC設立や事業に関わっていくお考えはありますか？

また、関わる場合の方法について、お考えをお聞かせください。

県市長会の地域医療対策特別委員会設置について

③三浦市長も構成委員となられましたが、県への提言に向けてどのようなことを訴えていきたいと考えていらっしゃいますか？

市長記者会見発表内容 要旨 (R2. 2. 21)

1 令和元年度佐渡市一般会計補正予算(第11号)について

【配布資料あり】

<概要>

○補正予算額(減額) 3億3千754万4千円

○予算総額 447億1千717万4千円

◎主な補正内容

佐渡ふるさと島づくり寄附金

○ふるさと納税の実績見込みに伴う所要額を計上

(歳入) 当初予算は2億円を目標に歳入を見込んでいたが1月末時点で2億3千万円を超えるご寄附をいただき、今後の見込みを勘案し5千万円を増額計上

(歳出) 歳入見込みに伴う返礼品業務委託料等を938万円増額計上

(各基金へ積立金) 前年度の1月から今年度の12月までの1年間の実績に合わせ総額1億1千500万円を積み立て

国の令和元年度補正予算(第1号)に伴う事業

○補正予算4億5千321万1千円を追加計上

- ・担い手確保・経営強化支援事業補助金に186万3千円
- ・県営農業農村整備事業に係る負担金に1千100万円
- ・保育園周辺の市道の防護柵設置など、未就学児等の交通安全緊急対策に6千万円
- ・市内全ての小・中学校で一人一台の端末を使用できる通信環境を整備するため校内高速LANと電源キャビネット等を整備する、校内通信ネットワーク整備事業に3億8千34万8千円

その他の経費

○12月補正予算編成後の事由による緊急性等、必要な経費と不用額の見込みに伴う減額等を計上

2 令和2年度佐渡市一般会計当初予算について

【配布資料あり】

<概要>

- 老朽化に伴う公共施設等の改修、教育環境・生活インフラ等の整備のための普通建設事業のほか、社会保障関係の経費、会計年度任用職員制度による新たな財政需要など喫緊の課題に対応するとともに、施策の継続性を重視した予算編成
- 予算規模は445億4千万円、前年度当初予算と比較し、15億4千万円、率で3.6%の増
- アミューズメント佐渡の改修、システムの更新など普通建設事業の増加が主な増加要因

(歳入の特徴)

- ・地方消費税交付金や佐渡ふるさと島づくり寄附金等の増額
- ・幼児教育・保育無償化に伴う保育料・幼稚園授業料の減額
- ・プレミアム付商品券事業の終了に伴う諸収入の減額
- ・普通建設事業の財源対策として市債を増額
- ・財政調整基金の取り崩しに伴う基金繰入金の増額等

(歳出の特徴)

- ・公共施設等の長寿命化対策、教育環境整備や生活インフラ等の整備、システム等の整備、重要文化財の保存整備など、普通建設事業の予算規模は68億8千6百万円、前年度当初予算と比べ、20億7千9百万円、率で43.2%の増
 - ・会計年度任用職員制度の開始に伴う人件費の増額
 - ・社会保障や福祉施設運営に係る特別会計等への繰出金の増額
 - ・社会福祉協議会への運営費助成等や障害福祉サービス費の増額
 - ・人材確保・育成のための奨学資金の増額 等
- 普通建設事業増額に加え人件費等の義務的経費や特別会計・公営企業会計への繰出金の負担も大きい状況ですが、市民生活への影響が少ない経費の

抑制を図りながら、市民の暮らしを第一に、事業の継続性、人材の確保・育成等に考慮して予算を計上

○当初予算に係る主な事業は、これまで取り組んできた施策、①観光地域づくりの推進、②産業の振興、③災害に強い島づくり、④佐渡活性化に向けた地域づくりとして、施策別にまとめています。

* 詳しくは、配付の一般会計当初予算の概要をご確認ください。

3 東京 2020 オリンピック聖火リレーサポートランナー募集について

<概要>

○東京 2020 オリンピック聖火リレー、佐渡市では6月5日に実施

○「地域の盛り上げ施策」のひとつとして最後のランナーと並走し、佐渡金
 銀山世界文化遺産登録に向けて盛り上げる「サポートランナー」を募集

○募集期間：令和2年3月10日～3月31日

○対象者：佐渡市在住の令和2年4月1日時点で小学生以上の方。ただし、
 令和2年4月1日時点で18歳未満の方は保護者の同意必要

○募集定員：20名（応募者多数の場合は抽選）

※応募方法等詳細は、佐渡市役所本庁、各支所、各行政サービスセンターに
 設置及び佐渡市ホームページに掲載する「東京 2020 オリンピック聖火リレ
 ー 地域から聖火リレーを盛り上げる走者（サポートランナー）募集要領」
 をご確認ください。

4 東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル

『佐渡市の火』採火メンバー募集について

<概要>

○東京 2020 パラリンピック聖火リレーの火となる『佐渡市の火』を採火する
 メンバーを募集

○募集期間：令和2年3月10日～3月31日

- 対象者：佐渡市在住の令和2年4月1日時点で小学生以上の方。
ただし、令和2年4月1日時点で18歳未満の方は保護者の同意及び保護者代表の同伴が必要
- 募集数：10チーム（1チーム3～5人程度）、応募者多数の場合は抽選

※応募方法等詳細は、佐渡市役所本庁、各支所、各行政サービスセンターに設置、及び佐渡市ホームページに掲載する「東京2020パラリンピック聖火フェスティバル（新潟県）『佐渡市の火』採火メンバー募集要領」をご確認ください。

5 「ゼロカーボンアイランド」の実現に向けて

【配布資料あり】

<概要>

- 佐渡市と粟島浦村は、2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンアイランド」の実現に向けて共同宣言します。
- 環境省は地球温暖化対策で「2050年にCO2の排出量を実質ゼロにすることを目指す自治体を”ゼロカーボンシティ”として国内外に発信し、全国の地方自治体に参加を呼び掛けている。
- 昨年新潟県は「自然エネルギーの島構想」を公表
- 環境負荷の低減とエネルギー供給源の多様化を図ることを目的に、洋上風力発電の導入、再生可能エネルギーを貯蔵・輸送・利用するための水素サプライチェーンの構築等を掲げる「自然エネルギーの島構想」は、離島のエネルギー転換と脱炭素化に向けた取組を主導し、持続的な開発目標（SDGs）の達成、地球温暖化問題を解決するための切り札になると考える。
- 佐渡市と粟島浦村は着実に「自然エネルギーの島構想」の取組を進めることを決意し、2050年までにCO2の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンアイランド」の実現を目指すことを共同宣言します。
- 共同宣言は、令和2年2月23日（日曜日）開催の「洋上風力発電に関する講演会」において行います。

※2020年2月17日現在、国内では、東京都、京都市、横浜市をはじめ63の

自治体が2050年CO2排出量実質ゼロを表明しており、新潟県内及び全国離島自治体では佐渡市と粟島浦村が初の参加表明となる。

6 令和元年の観光客入込状況について

<概要>

令和元年中の観光客数推計値

○昨年1月から12月末までの観光入込数は48万9千人と推計

・前年（平成30年）の49万1千人と比較し約2千人（▲0.4%）の減少

○島内観光旅館組合の宿泊者数は29万233人泊

・前年（平成30年）の29万656人泊と比較しほぼ横ばい

（423人泊の減少、前年比▲0.14%）

※令和元年はゴールデンウィーク10連休と過去にない賑わいからスタートも、6月18日に発生した新潟山形地震、夏以降関東方面を中心とした台風の影響、秋の観光シーズンは予約的には好調であったが、10月の台風直撃による大幅なキャンセル、12月には通年で順調であった台湾定期便の運休など、自然災害や社会的要因により減少に転じたと分析しています。

【参考】	H29	H30	R1	
観光入込人数	488,000	491,000	489,000	人
島内宿泊者数	272,286	290,656	290,233	人泊
（但し、佐渡観光旅館連盟加盟施設20軒の宿泊者数）				
インバウンド泊数	17,000	26,000	18,000（見込み）	人泊

7 首都圏での「佐渡産ルレクチェゼリー」の販売について

【配布資料・試食あり】

<概要>

○佐渡を代表する果樹「ルレクチェ」を使用した「ルレクチェゼリー」を首都圏の高級スーパー紀ノ国屋で3月下旬より販売

○規格外「ルレクチェ」の利用促進を目的にゼリーという気軽なメニューで

提供し、美味しい「ルレクチェ」を多くの方に知っていただき「ルレクチェ」の販売拡大に繋げる。

- ゼリーのパッケージには世界農業遺産ブランドマークを記載し安全安心な佐渡産品をPR

8 オアシス 2020 春 郷土芸能祭・加茂湖牡蠣祭の開催について

【配布チラシあり】

<概要>

○佐渡の玄関口である両津港「みなとオアシス佐渡両津」の賑わい創出、地域活性化を目的とした「オアシス事業」の一環で「郷土芸能祭・加茂湖牡蠣祭」を開催します。

○日 時：3月15日（日曜日）9：00～15：00

○会 場：おんでこドーム

○内 容：

（飲食ブース）

- ・加茂湖漁業協同組合による、旬のカキを使った「焼きガキ」「カキご飯」「カキ汁」などの販売、14店舗の「島のグルメ屋台」を出店

（ステージ）

「鬼太鼓」「春駒」「民謡」などの郷土芸能や、「ブラスバンド」「フラダンス」「よさこい」を披露

○関連イベント：

- ・3月1日～22日、あいぽーと佐渡で「はるノ色巡り」と題し「四季を彩る草木染展」や「あいぽーと雛人形展」等のイベントを開催
- ・関連イベントの詳細は佐渡観光交流機構両津支部（23-3300）まで

9 2020 佐渡オープンウォータースイミングのエントリー開始について

<概要>

○開催日：7月19日（日曜日）

○会 場：佐和田海水浴場

*今年はおリンピックの関係で2週間早めでの開催です。

○種 目：5,000メートル、3,000メートル、1,500メートル

前日に開催するチャレンジスイム500メートル を設定

※5,000メートルの男女総合上位3名の方には、オープンウォータースイミング日本選手権の出場権が与えられる大会です。

○ゲスト：松田 丈志さん

○エントリー期間：3月2日（月曜日）から6月12日（金曜日）まで
ただし、定員に達した時点で締め切ります。

*大会ホームページからお早めに手続きをお願いします。

10 2020 佐渡国際トライアスロン大会のエントリー開始について

<概要>

○開催日：9月6日（日曜日）

○ゲスト：松田 丈志さん

松田さんは昨年Bタイプに出場し、一昨年の自己ベストタイムを塗り替え完走しています。今年はAタイプに初出場予定

○エントリー期間：3月2日（月曜日）から3月19日（木曜日）まで

○募集人数：

- ・佐渡国際Aタイプ 1,070名
- ・佐渡国際Bタイプ 800名
- ・佐渡国際リレータイプ 80チーム

*各タイプとも申込み多数の場合は抽選で参加者を決定

【ジュニア大会】

○開催日：9月5日（土曜日）

○募集人数：小学1年生から中学生まで150人

○エントリー期間：3月2日（月曜日）から3月19日（木曜日）まで
ただし、定員に達した時点で締め切ります。

○その他：本年度は佐渡市のジュニアトライアスロン競技の振興を目的にジュニアクラスの優勝者には東京で行われる「オールキッズトライアスロン大会」出場権と激励金を交付予定

※エントリーの方法など、詳しくは大会ホームページでご確認ください。

11 第20回全国高等学校版画選手権大会（はんが甲子園）本戦の開催について

【配布資料あり】

<概要>

○開催期間：3月18日（水曜日）～22日（日曜日）

○出場校数：14校

- ・14回目の出場となる東海大学付属静岡翔洋高等学校、静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校、11回目の青森県立弘前実業高等学校など常連校のほか、初出場は岩手県立杜陵高等学校、茨城県立藤代高等学校、福井県立高志高等学校の3校です。
- ・佐渡からは、佐渡高等学校と佐渡中等教育学校が出場します。
- ・大会スケジュールと本戦出場校は資料をご参照ください。

○その他：

- ・19日の開会式、22日の閉会式にお越しいただいた観客の皆様に「はん画甲子園絵葉書5枚セット」をプレゼント
- ・19日～21日の本戦を観戦に来られた皆様に「はん画甲子園絵葉書」を各日1枚プレゼント

※会場内では、制作ブース内への立ち入りはできません。